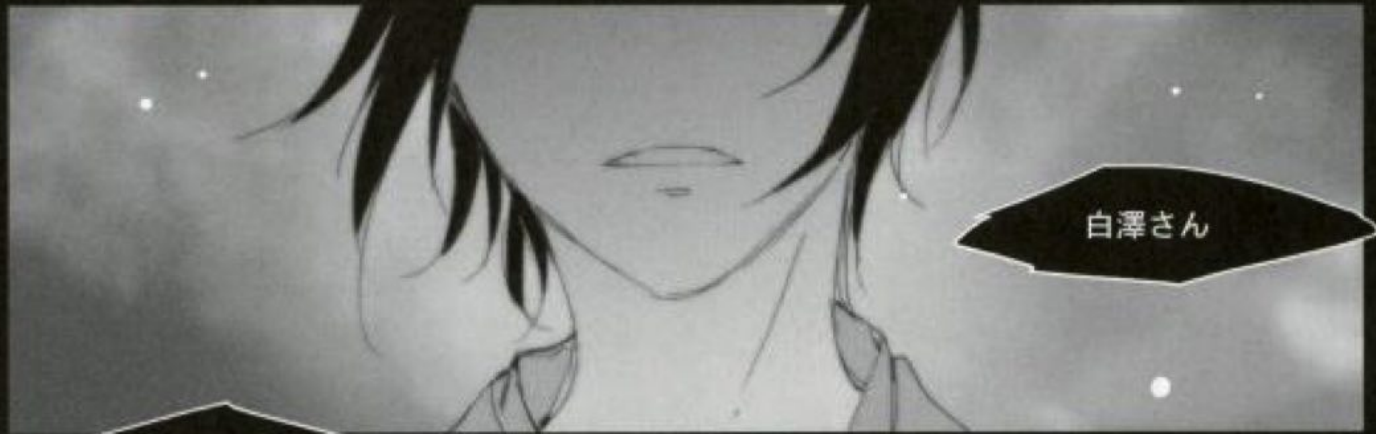


現實逃避武





白澤さん

私は

忘れません



何回転生しても

貴方のことは決して忘れません

班
家

武



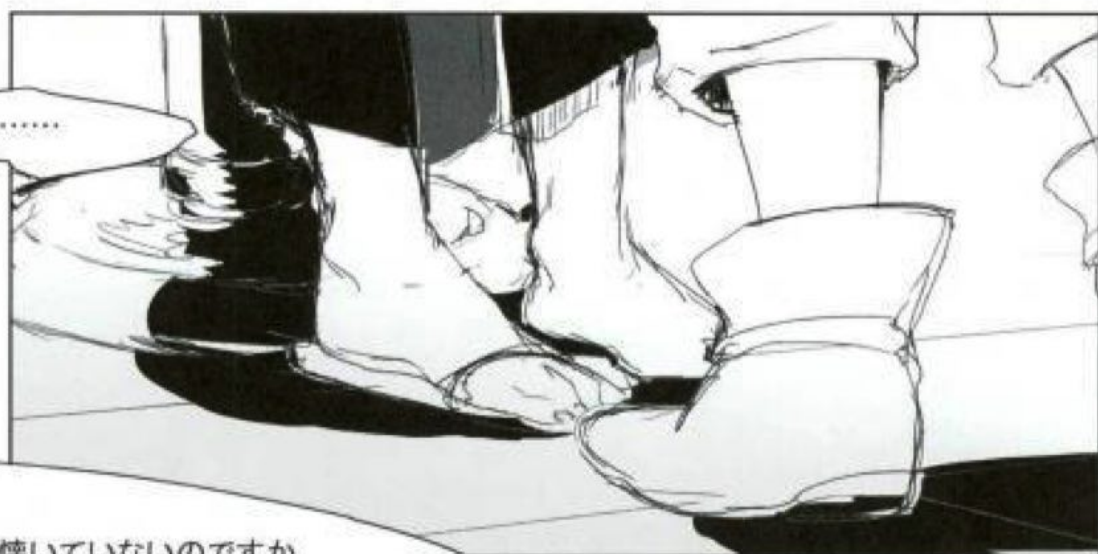




それに



うさぎ達は君に懐いているね



.....

他の人には懐いていないのですか



いいや

それはちょっと違う



君以外、誰も来ないんだよ

私は

どうしても貴方のことを忘れたくない

人が来なくなってから



店も維持できなくなった

あのときのまま 戻ってきた

なのになぜ

あれ…？



何故だろう

貴方は 変わってしまったのですか



そうだ



丁君

ちょっと手伝って欲しいんだ

いいかな？



分かりました

手伝ってあげましょう

全ては 鬼神の異変から始まった

ご機嫌いかが！！





お前なにしにきた

はあ!?

今夜送って行ってやると言っただろう

ついに認知症ですか

薬材を買いに来たのです



出せ

今すぐ



馬鹿かお前は!

今取り込み中だよ



ほう…？

文句があるようですね



……

いや、取り込み中だって

あ、私の事気にしないでください

私はもう帰りますわ

鬼灯様、白澤様

さよなら



あ

みゆきちゃん……

今夜のデート…



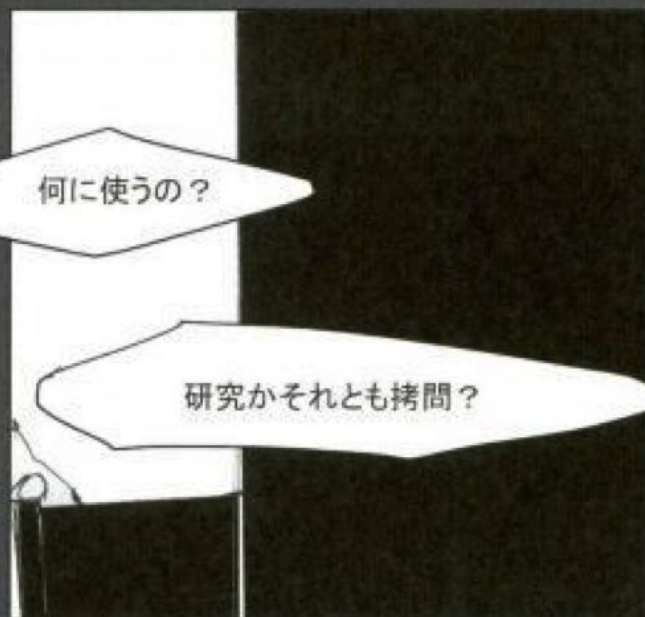
そういえば

お前先週買ったばかりじゃないか？



何に使うの？

研究かそれとも拷問？



こんなに高いのによく買うなお前

前も言ったけど

これは薬性が強すぎる



普通の人が飲めないくらい強い

普段はあまり使わない



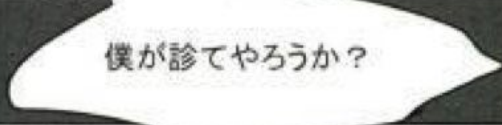


お前さ…まさか何か病気でも？



ねえ

僕が診てやろうか？



なんてね

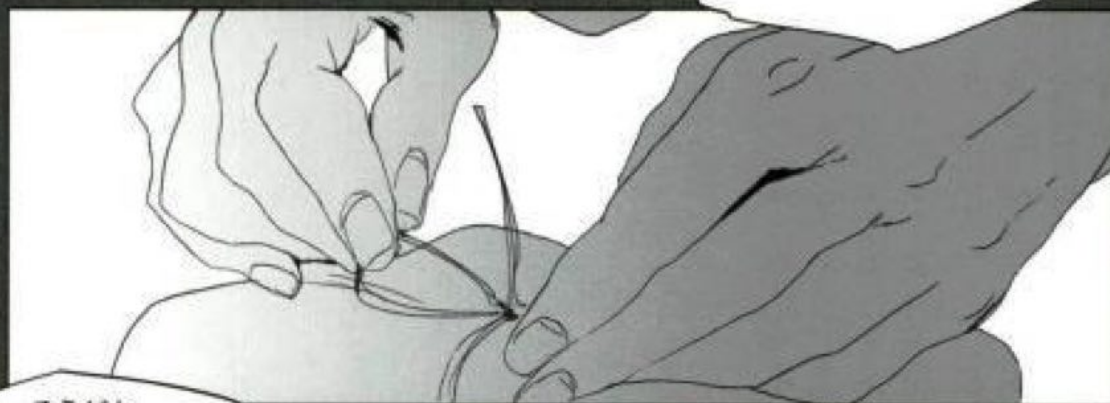


……



貴方とは関係ありません

黙って渡せば良いのです



はいはい

そうだね



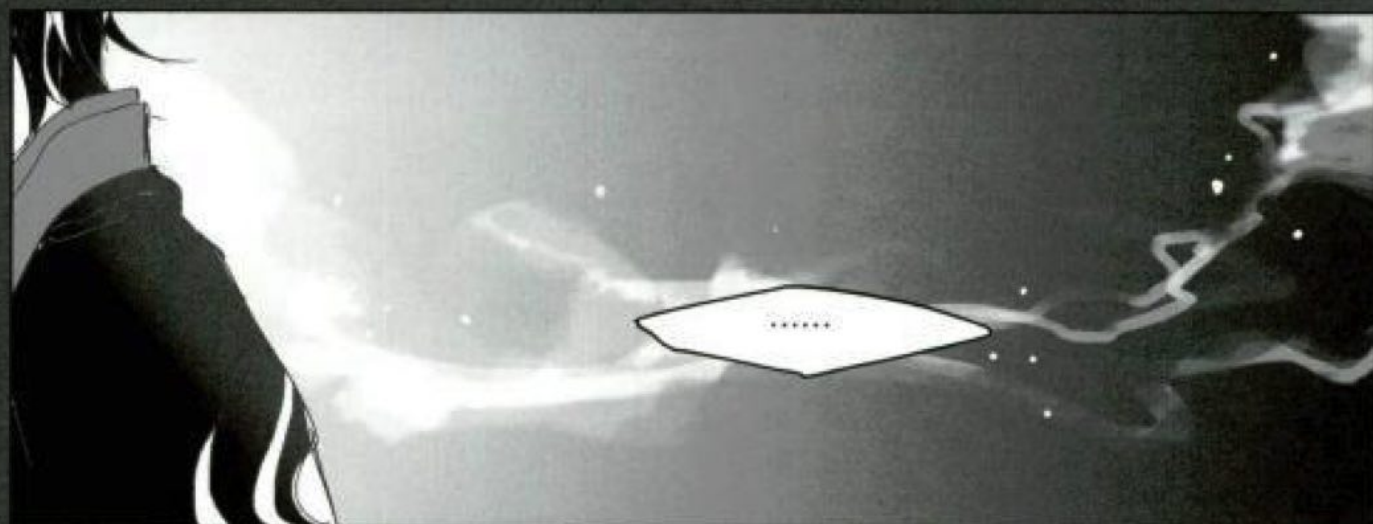
お前がどうなっても

別に僕とは関係ないけど

ささっとお金置いて帰れ



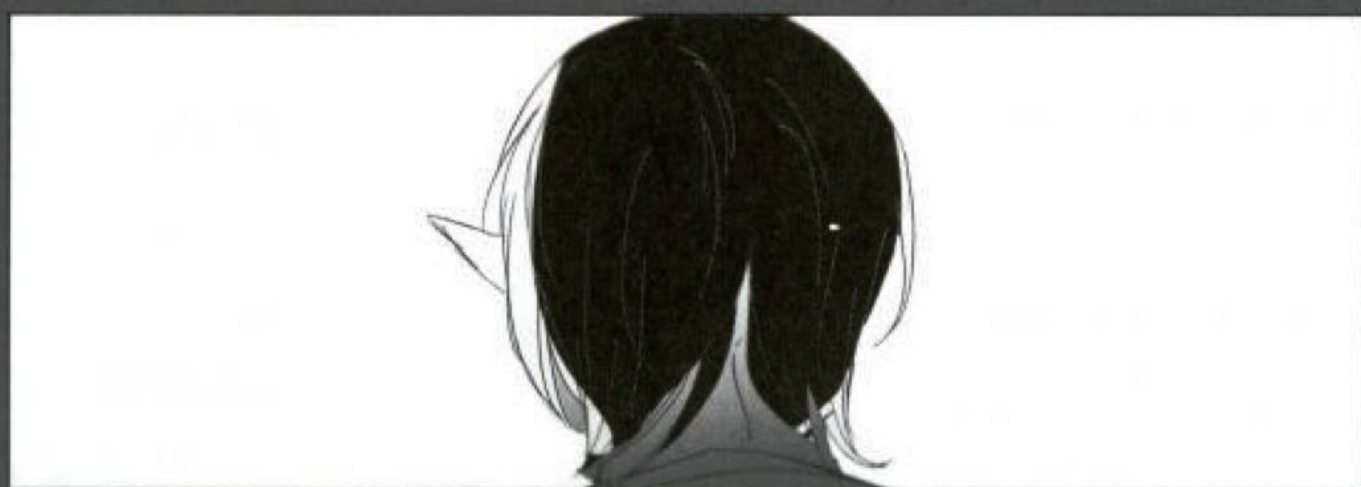
毎度ありー



.....



お邪魔しました



え



あれは…？



消えた……



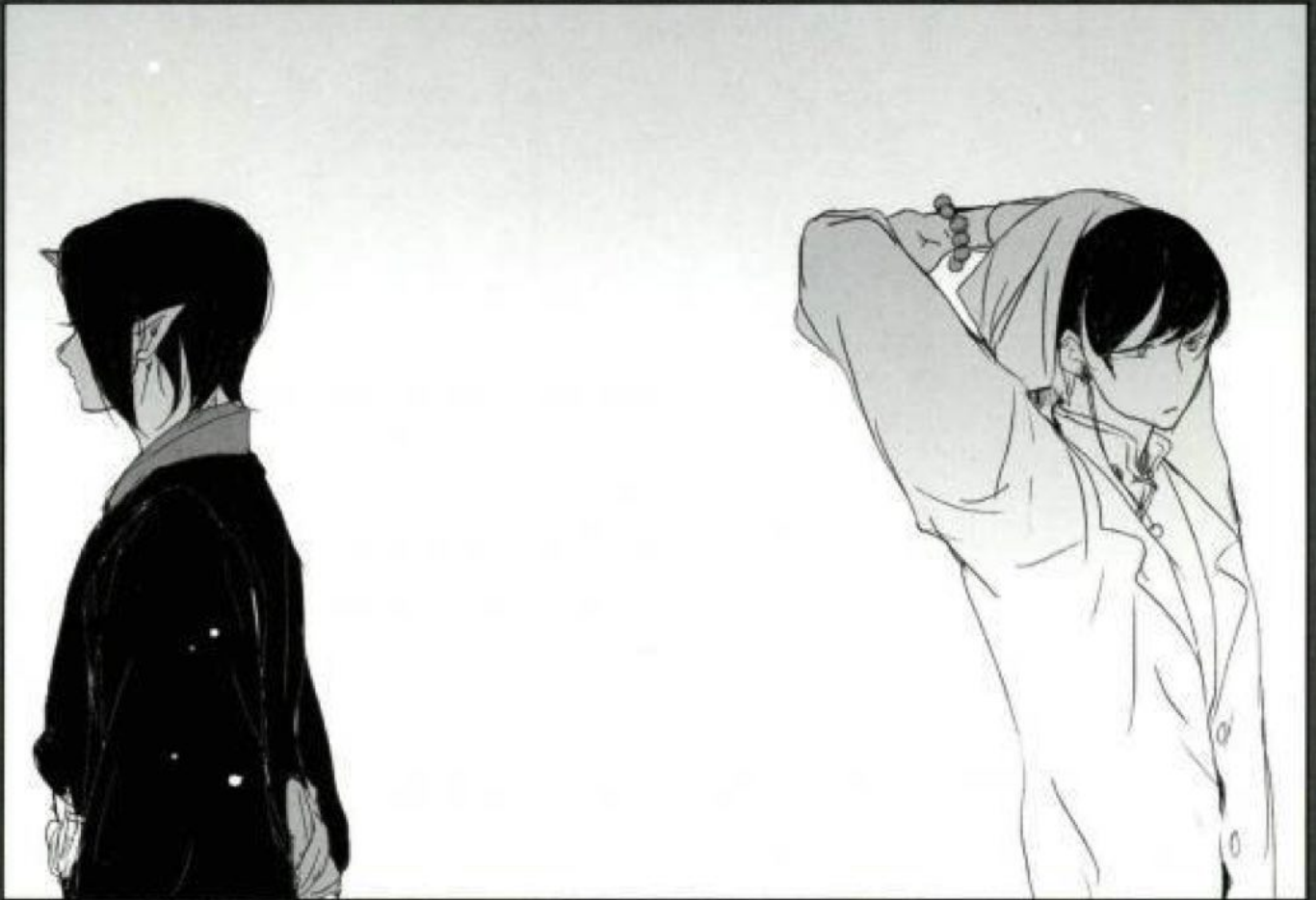
……



少し休もうか

こいつに限って

病気などないだろう




少しは

気になるけど

妙に


違和感が抜けない

そうか




そちらは早く

あ、はい！



お香ちゃんも知らないんだ


あいつ何も言ってないよね




これを見て下さい

はい

鬼灯様になにかあったんですか？



鬼灯様？



いや、僕がちょっと気になるだけ





顔色は元々なんです

それは

そうですけど…



何か気になることがありますか

最近の鬼灯様は

少し疲れ気味なようですね



白澤様も

鬼灯様の事を心配していました



疲れて...





ほ、
鬼灯様！



お香さん
どうしたんですか



わあ！？

鬼灯様！？

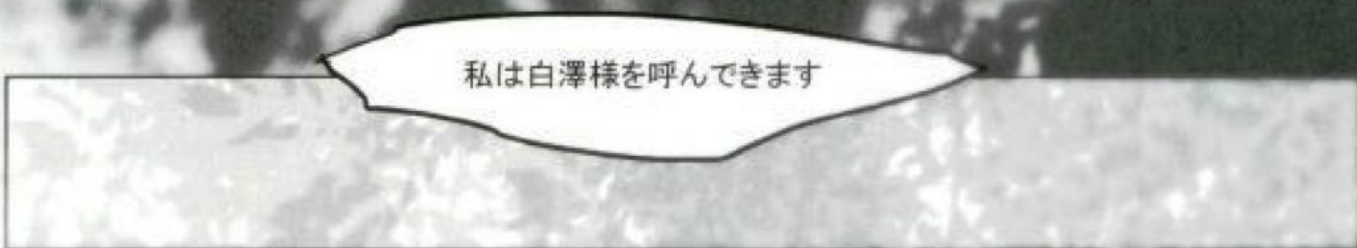
唐瓜ちゃん！



一体どうしたんですか！？



お願い
閻魔様を呼んで来て



私は白澤様を呼んできます



まさか

あいつが倒れたなんて



長い付き合いのせいか

僕も時々忘れてしまった



あいつは所詮鬼だ



いつか消えていなくなる存在





ああ……



診るしかない





ただの体調崩れか

けど違和感があるね



ところで

さっきからずっと漂うこの匂いは



一体何を作った



僕が渡した薬材…？



これだ







魂を鎮める薬



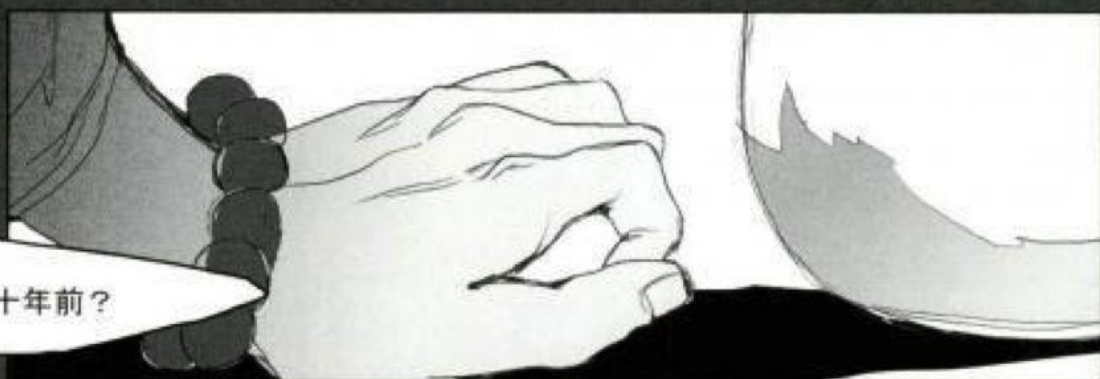
はあ



やっぱり気のせいじゃなかった

体から薬の匂いがするはず

その匂いまで消したね…



十年前？五十年前？



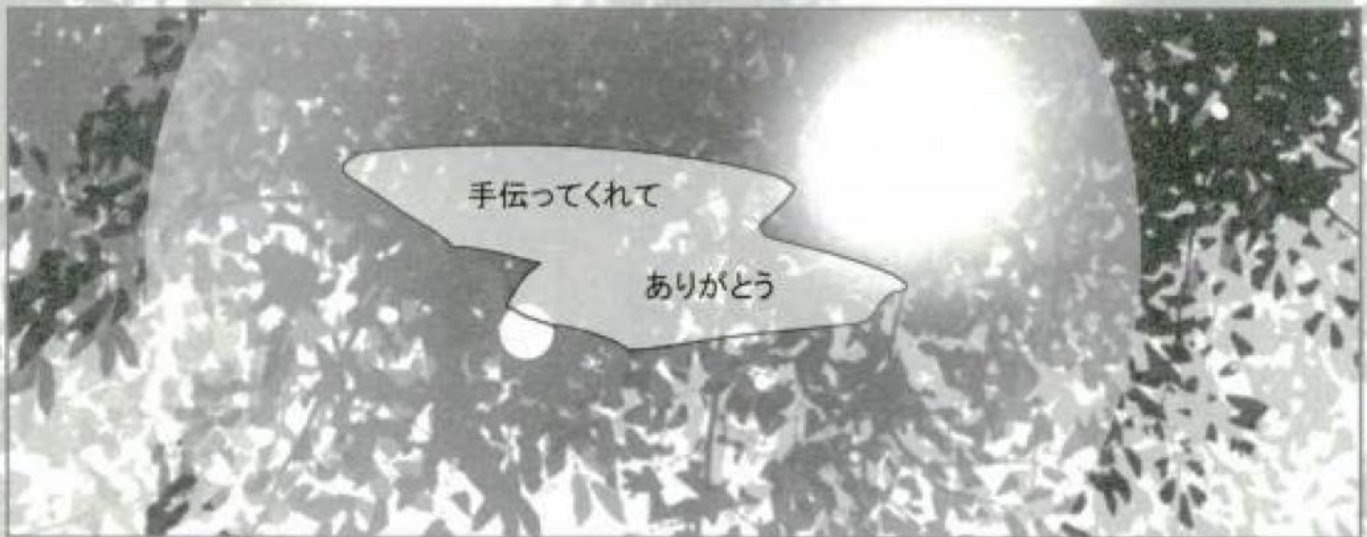
かなり前からだろう？



馬鹿だね



お前



白澤さん

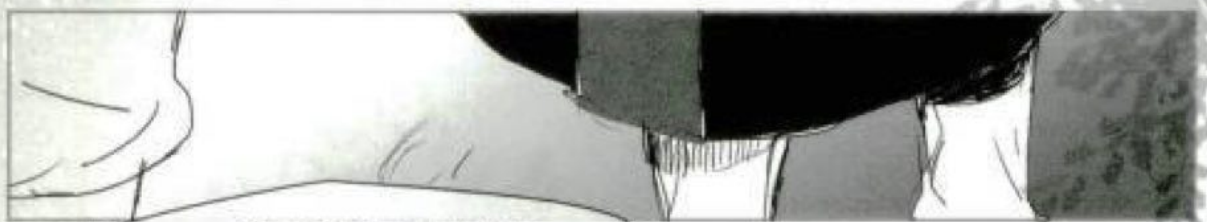




うん



.....
何故ですか



何回も転生した彼はもう



貴方の事を覚えていないかもしれません



僕は賭けてる



勝つのは僕なのか

あいつなのか



どっちだろ



まさか鬼灯様が…

鬼灯君も鬼だもの
いつか消えていなくなるのもおかしくない

しかも人と鬼火のミックス

色々な不安定要素を持ってるはず




しかし鬼灯様だと想像できないな…


消えるなんて



鬼灯様…このままでは



まさかこの儘も気づいてなかった



このままじゃ

鬼灯君が死んでしまう

二零一四年十二月二十三日
鬼灯の冷徹 鬼灯x白澤

麻。/ihino